

みやぎの萩ネットワーク

◆ 会員の他にサポーターをおき、「助けて」と伸べられた手を離さないために、宮城県内の自死遺族や弁護士、僧侶、社会福祉士、カウンセラー・社会保険労務士・司法書士、中小企業コンサルタント、税理士・セラピスト、家族相談士、牧師・医師・議員等が顔の見えるネットワークを作り、県内の各自治体・県警本部・社会福祉士会・みやぎ心のケアセンターとも協力して、全戸配布や市町村の関係機関・町内会・小中高の学校・各種組合・銀行・郵便局・病院・介護施設・交番・飲食店等々に配置し、24時間対応で電話やメールを受け付け、ワンストップで総合支援ができる体制を作り、緊急の場合は夜中でもお互いに連絡できる関係を築いている。

ブログやFacebook、ホームページ、スマホや携帯対応で検索相談可能

【1】

自死リスクを軽減し自死を予防することを目的とした、多面的な、本人と本ネットワークの生きる力とそのための環境を取り戻す共同作業、及び、この事業のためにリスクを抱えた方の本ネットワークへのアクセスの向上を目指したパンフレット、チラシ、ポスターの普及その他の方法による本ネットワークの存在及び活動内容、相談窓口の積極的な告知。（経済問題や、対人関係問題という環境的要因に対して、行政手続きや訴訟手続きの検討も含んだ専門家との人間として生きるための環境の改善への取り組みや心理的問題、身体的問題に対する専門家との心の平常化に向けた取り組みを行い、メーリングリストなどを利用して各専門分野からの助言、複数のメンバーによる協働の取り組みを行う。

【2】

自死予防を目的とした、自死の行動原理や要因、リスク評価、自死予防の具体的な解決方法等についての研究活動及び、この成果の共有と、メンバーと市民が正しい知識と理解の普及のための、専門家による専門分野からの月例報告会（一般公開）

【3】 1, 2の事業を円滑に、かつ効果的に実施するための企画運営および必要な調整を行うとともに、本ネットワークをより暖かく、メンバーが本ネットワークの活動により充実感をもてるよう、月例幹事会を開催する。

(付) 事業の詳細については幹事会に一任する。